

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第 1 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしく
お願いします。

記

1 情報の内容

コナガによるアブラナ科野菜に対する加害の注意について

2 対象作物

キャベツ、こまつな等アブラナ科野菜

3 発生状況

県下に設置した 6 か所の予察灯の誘殺数は、5 月第 1 半旬に 5 か所で急増しており、
特に西条市（平年比 51.7 倍）、松山市（同比 3.7 倍）、松前町（同比 15.3 倍）は、平
年に比べ多くなっている。

県下に設置した 2 か所の性フェロモントラップの誘殺数は、松山市では 4 月第 5 半旬
から増加し 5 月第 1 半旬には平年比 7.3 倍、大洲市では 5 月第 1 半旬に同比 3.3 倍と
平年に比べ多くなっている。

病害虫防除所ホームページの調査データ参照。

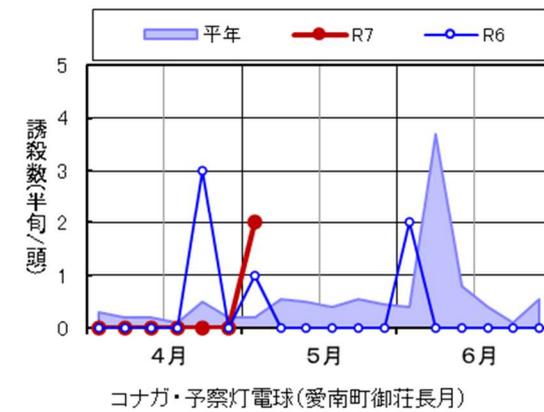
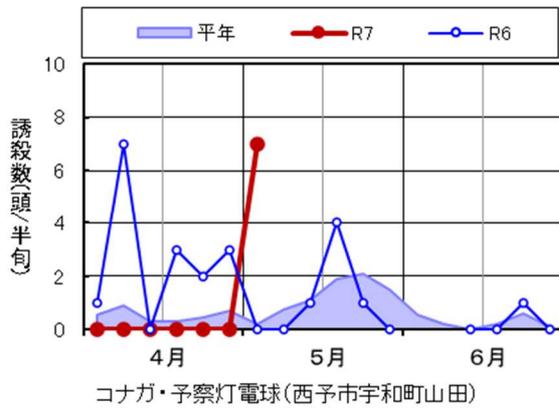
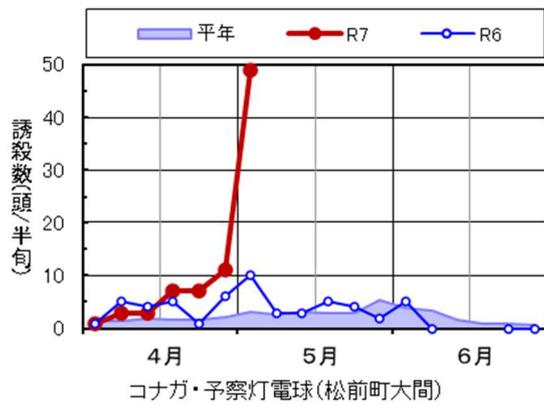
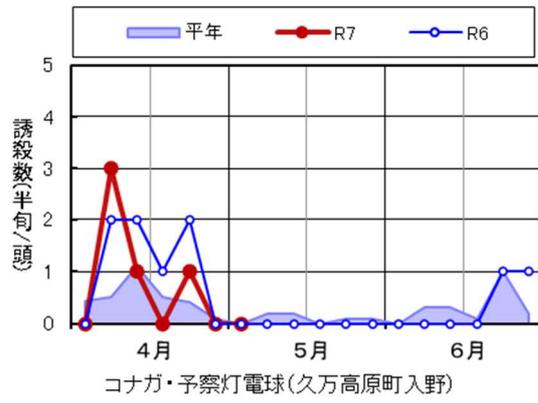
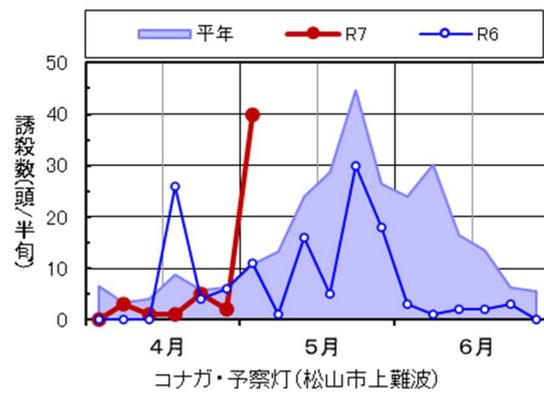
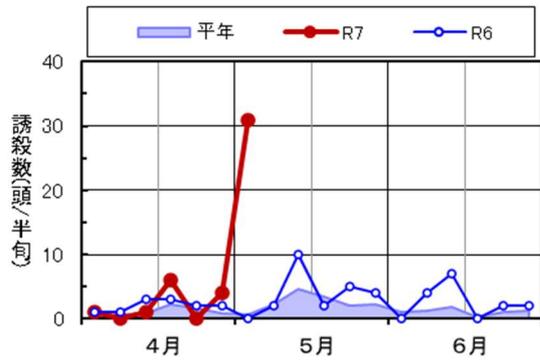
4 防除上の注意

- (1) コナガの発生源となるアブラナ科野菜の収穫残渣は速やかにすき込み処分を行うと
ともに、圃場周辺のアブラナ科雑草の除草に努める。
- (2) ジアミド系薬剤（IRAC コード 28）の一部では感受性の低下が進んでいるものが確認さ
れているので、効果の低下が疑われる場合には、別系統の剤を選択する。
- (3) コナガの幼虫は主に葉裏に生息しているため、葉裏まで薬液が掛かるよう散布す
る。
- (4) 老齢幼虫や蛹には薬剤の効果の不十分なため、早期発見・早期防除に努める。
- (5) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統剤の連用を避け、ローテーション散
布を心掛ける。



写真 コナガ（左：成虫、右：幼虫）

○予祭灯誘殺数



○性フェロモントラップ誘殺数

